

施策評価調書

施策名	2-2-1	高齢者の豊かな地域生活への支援		施策を 取り巻く 環境変化	
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 31		
担当部課	住民生活部 健康福祉課	担当	社会福祉 担当		
		リーダー	赤羽 一夫		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	-9.0% 第31位/全36項目(高齢者福祉の充実)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	77.2% 第2位/全36項目(高齢者福祉の充実)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの
 優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:シルバー人材センター登録者数(活躍できる場の提供):(人)	21年度実績	計 画	173人	179人	186人	193人	200人
	168人	実 績					
指標2:老人クラブ会員数(魅力ある老人クラブづくり):(人)		計 画	1,328人	1,371人	1,414人	1,457人	1,500人
	1,288人	実 績					
指標3:外出にデマンド交通を利用した60歳以上の人数:(人)		計 画	28,392人	29,484人	30,576人	31,668人	32,760人
	27,300人	実 績					
指標4:ひとり暮らし老人等の緊急通報装置設置数:(件)		計 画	152件	169件	186件	203件	220件
	138件	実 績					
指標5:		計 画					
		実 績					
指標に関する特記事項	○シルバー人材センター、老人クラブに関する指標は、それぞれの「量」ではなく、「質」を向上させることに重点を置きます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当 初	57,023			
	決 算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

自己評価(部)	後期計画における施策展開のビジョン	H23年度の狙い
	元気な高齢者が生きがいをもって就労できる、シルバー人材センターを支援する。 地域において、高齢者が多様な世代との交流や豊富な経験が発揮できる老人クラブ等の活動を支援する。 高齢者やその家族の生活の実態把握と訪問相談を行い、介護等が必要とする方や緊急な措置が必要な方への適切なサービスを提供していく。	高齢者が地域で元気に活動できることを支援する。 高齢者の生活の安心を支援する。
総合評価(町長)	総合評価	
	前期計画の達成状況を踏まえ、生きがいを持って豊かな地域生活を送るための受け皿として、シルバー人材センターや老人クラブなどの組織が、高齢者自身のネットワークづくりや、社会参加活動に果たす役割は大きいことから、後期計画においても継続して、魅力のあるものにしていくために、行政の立場から、積極的に支援を行うことを評価する。 たたし、これから高齢者が益々増加することを踏まえ、支援を必要とする方へ、切れ目のない、適切なサービスを提供していくためにも、後期計画に掲げる指標の達成状況や実情を適切に捉え、関係課や関係機関と連携した取組みになるよう努めるとともに、シルバー人材センターや老人クラブについては根本的なあり方の検討はしていくこと。 また、後期計画を展開していく上で、何に特化して選択と集中を図っていくのかは、その都度適切に達成状況を把握し検証、検討していくこと。	